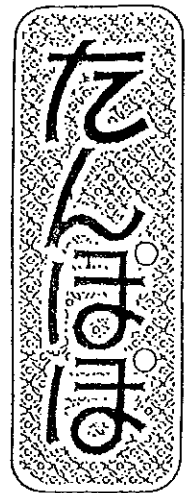


親の会総会

理事長 田中 稔

例年、親の会総会は5月上旬に開催していましたが、従って好天に恵まれる事が多かったのですが、今年は梅雨のはしりやか大雨の総会になってしまいました。今年も親の会が結成されて20年目の記念すべき年にあたります。ここ数年、親の会の活動は転換期にあると言われ続けて来ました。

20年前『自閉症』という障害についての考え方、療育法は混乱していました。どこにも行く所が無く、どうしてよいか分からない親たちの土曜、日曜学級といった所から出発しました。20年経った今、自閉症児者の置かれている状況や受けている療育はどうでしょうか？。早期発見、早期療育が言われ



NO. 49

H 3年7月1日

一発行一

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

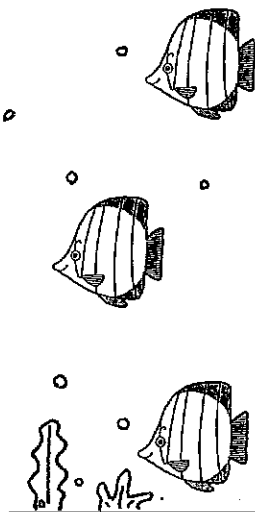
293-8100

て久しいと思います。早期診断は少しづつ出来る様になって来ていますが、早期療育の受け皿がどこにあるでしょうか。「自閉症について」知っていて話が出来る人はいません。私達親が求めているのは「自閉症児者について」その人間的な発達のために障害の根幹に一貫した考え方で、強気に働き掛けをしてもらえる受け皿です。

学校教育の中で、障害の特異性をふまえてカリキュラムが組まれているでしょうか。パニックやこだわり行動に振り回されてはいないでしょうか。総会の席で、あるお母さんが「義務教育卒業後のこの子にあった行く所が無い」と発言されました。これら幼児から年長まで多くの課題が何等変わる事なく存在し続けています。既に県

下で500名を越えると思われる自閉症児者の将来を考える時、親の会の存在は重要です。毎年行っていた夏の療育キャンプも、服部先生が熊日新聞に寄稿されていた様に学生ボランティアの減少により人まかせでは出来なくなっています。

今年の総会のテーマは『自分達の事を自分達の力を合わせて自分達の手で』です。自閉症という障害は障害の中でも少数派です。親の会の歴史は自ら声を大にして、力を合わせて子供達の道を切り開いて来た歴史です。この秋には20周年の歩みを記した記念集とつどいを予定しています。そしてさらなる30周年へ向かって一歩一歩進まなくてはなりません。



療育シリーズ

山登り

園長 土井尚典

5月の外出訓練は1班と3班は山登りであった。久し振りの山登りで多少自信がなかったが、先ずは3班の小萩山に付き合った。いつもなら新ちゃんが一緒にしんがりを努めてくれるのだが、今回はさっさと歩き、おいてきぼりをくい独りしんがりを歩いた。1キロ程歩くと皆が待つてくれた。嬉しくて「ありがとう。」と言うとやさしい指導員は「サー行こうか。」と皆を促し歩き始めた。

「いつか殺してやる！」と思いがらも、「元氣だしていこう。」と言ってスタスタと歩き始めた。だんだん登りがきつくなり遅れ始める園生がでてきた。上り坂を見上げながら、帰りはもつと大変だろうなとおもった。下り坂が苦手な園生が多いからである。哲ちゃんと一緒に登りながら、「ガンバ

レガンバレ。」と言って登った。麦藁帽子につりズボンの哲ちゃんが「オーオー。」といいながらついてくる。ポタポタ落ちる汗を拭おうともせず登る哲ちゃんが遅しかった。頂上での食事は厨房特製のお弁当で本当においしかった。帰りは案の定、哲ちゃんは下り坂を怖がった。励まし励まし降りて行った。急な下り坂をおり切るとみんなが待つてくれた。哲ちゃんとは苦勞を共にしたせいか友達になれたようだ。

1班の山登りは鞍岳山に登った。私の相棒は上田さんだった。足元は弱弱しそうだが着実に登って行く。先頭は遙か遠くに見える。「ヤッホー。」と言っても返事が帰って来ない。途中で武藤指導員が心配して迎えに来た。上田さんはホッとしたらしくホイホイと掛声をかけて登って行った。あんまり嬉しくて元氣を出したせいかな頂上につくと上田さんは発作を起こしてしまった。下りはやっぱり登り以上

の大変さだった。上田さんは下りを怖がらないがコロコロ転んでしまう。怪我をしないようにゆっくりゆっくり降りるように声掛けしていく。歩きながら上田さんが色々話し掛けて来る。「あーたは誰でしたっけ?」「忘れたね?」「サカイさんだろう。」「アアアがっかりたい。」「ウッフッフ。」「私をからかいながら余裕の歩行である。」

山登りは登りよりも下りになると園生の歩行能力がはつきりして来る。転ぶのは別として怖がる場合は目が悪い場合に多い。それに自閉性障害児者に見られるのは腰と膝の折れの悪さである。特に腰は股関節の前折れの悪さである。

このような園生は下りを怖がることが多い。「踏ん張って。」「腰を入れて。」等の言葉掛けが分かるはずもない。しかし、なんども山登りしていると上手になって来るから有り難いことである。



我が家のゴールデンウィーク

藤本栄之助

開園祭の楽しい雰囲気と周辺に漂っていた青葉の香りをそのまま延岡に持ち帰って、由布子と過ごした素敵なゴールデンウィークでした。前半はぐづついた天気で、家の中で鼻歌まじりに絵を描いていた由布子でしたが、後半は最高の五月晴れ、早速裏山にハイキングに行きました。

『三気の里』も大阿蘇の雄姿と徳富蘆花の愛した鞍岳の山並に囲まれた美しい環境ですが、延岡は太平洋が目の前に広がる素晴らしい所です。その大海原を由布子と一緒に一日中眺めていました。背後の山陵に夕陽が沈み、広い広い海の彼方から大きな月が昇って来ました。この情景は由布子の心象の中に残り、いつの日かスケッチブックに描かれる事でしょう。



森川秀介

今年大人の仲間入りをして、初めてのゴールデンウィークを迎えた誠君。「飛行機何て鳥の仲間?」なんて思っていた飛行機に生まれて初めて乗り、短い二泊三日の東京見物へとさっそうと出発。三日の朝9時の飛行機に乗り、夕方よりの夜のデイズニールランドへと洒落込みました。誠も人が多いのにはびっくり、花火、夜景、パレード、舞台での人形の踊りと、私達も夢の世界にいる様な時を過ごしました。四日の日は、ハトバスにて都内めぐりで東京タワーへ、五日の日は船で隅田川下り、帰熊と無事帰って来ました。言葉には出せないけれど夜のデイズニールランドの素晴らしかった事。飛行機は乗る物と分かっただけでも誠君にとって貴重な体験だったと思います。

新任職員研修会

金丸綾子

5月24日新任職員研修会が、わらび学園で行われました。初めての研修なので、少々緊張気味で向かいました。

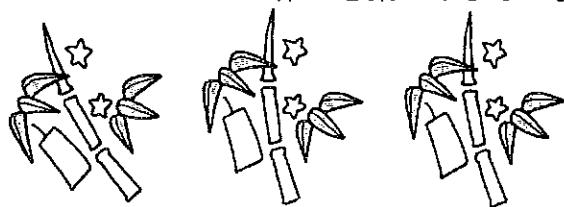
午前中の日程では、「心構え」として、いろいろ話され、「この世の中には用のない人などいない。」という言葉が心に残りました。午後からは、グループに分かれての懇談会になり、福祉でのいろいろな問題を出し合い、食事、メニュー、個人の幸福感の違い、年令にあった生活の仕方など。意見が煮詰まった時には、長年勤められている先輩方が、アドバイスをしてくれたり、これからの勤務に對しての思いが感じられました。

この研修で、各施設の話が聞けて、とても有意義な一日を過ごす事が出来ました。



3班 ずっこけ村

3班の6月のレクリエーションは、なぜか梅雨という事も考えず大空のもとで遊ぶ計画をたてて、昨年同様みごとに雨に降られて、それでも懲りずに佐賀県にある、《どんぐり村》に出掛けたのです。ラッキーな事に現地に着くと、すっかり雨はあがり、この時とばかりに遊び廻ったのです。グループ行動でしたので私と一緒に行動したマコちゃん、一君の場合まず最初にみんなと別れて、ローラスケートに挑戦！！しっかり立とうとするのですが、これがなかなか上手くいかない。そこで一君、手すりをもって歩く事に成功。マコちゃんはというと歩くのですが、前に進まない。『こらいかん』と私が手を握って一人前に指導しようとして二人でずっこけ、実は私も初心者なんだと気付いた次第でした。その管理人さんいわく、『立てただけでも立派。』三人共ローラスケートを通じて思い切り笑った良い時間でした。他にもアスレチック e t c . 雨上がりにお尻も濡れながらみんなで梅雨の一休みを楽しみました。 田之上



4班 開店閉業（晴耕雨浴・・・？）

うっとうしい雨の続くこの時期、例年4班にとっては、つらくもあり嬉しくもある変な時期です。雨の間を縫うように外へ出たの畑仕事は、濡れるし蒸し暑いし泥だらけ。作物（白菜・キャベツ）は、雨に打たれて痛みが早く、『出荷しなきゃ〜！』と、空を見上げる毎日です。おかげで気合の4班、多少の雨なら雨具を着たり濡れ鼠になりながらも「負けるものか！」と、作業をしておりますが、そんな時、誰ともなく言い出す『温泉行こか？』の一言で皆ニッコリ。そそくさとタオル・着替えを詰めたリュックを背負い、最近4班の定番となった七城町温泉センターを目指して、バスに乗り込み勇んで出掛けるのです。

温泉で、泡のお風呂に打たせ湯・電気風呂と、皆が各自好きな所でゆったりする姿は、雨で休みに来られた近くの農家のおじいさん達と一つになって、実にのどかな雰囲気の良いものです。今のところ、晴耕雨浴という感じの4班ですが、梅雨があけると畑の草と地獄のバトルロイヤルが待っています。皆、今のうちに鋭気を養って夏に備えようね・・・頑張ろう！！ 東



1 班 梅雨にも負けず

「梅雨」この言葉に私はろくな思いがありません。今回のレクリエーションでもやはりこの「梅雨」という言葉に悩まされるのです。今回は、梅雨という時期と企画担当者が雨女であるということもあって、室内でゲームを楽しむボーリングを企画しました。当日は当然のごとく雨、しかも大雨。やっぱりと暗い顔の企画者をよそに、みんなの元気なこと。いざボーリング場につき大勢の人の中、少しびっくりした様子でしたがゲームが始まるとみんな我を忘れてゲームを楽しんでいました。仲良し2人組は辰治さんと宣陽さん、そして2人をサポートしてくれた新妻由美子さん。その他、最後のほうでストライクをだした聡士君、ゆっくりペースの肇君、元気一杯憲ちゃん、茶色のボールでしか投げなかったかうちゃん、ちょっぴりひかえめ博君、この日一番わくわくしていた久美ちゃん、気分が悪く車でお留守番の忠ちゃんと園長、お疲様でした。雨の日でも楽しいレクリエーションができて良かったね。また行こうね。

by 本当は晴れが好きな雨女

伊石

2 班 JR 三気線（特急or鈍行？）

2班は、とにかく時間一杯指示に従って頑張るという目的で作られました。その目的に向かって、まず廊下掃除に取り組み、A班とB班に別れてやっています。A班は二階の廊下を、文ちゃん、あっこちゃん、俊ちゃん、浩ちゃん、英君のベテラン5人組で汽車拭きします。B班は1階の廊下を新メンバーの健ちゃん、泰ちゃん、みっちゃん、英輔君の4人組で汽車拭きします。B班は、最初慣れていない事もあってパニックになったり、泣いたり大変でしたが、みんな梅雨の暑い中、汗をタラタラと流しながらも表情良く汽車拭きが出来る様になってきました。

廊下の汽車拭きは、指示に従い頑張るという事だけではなく、太っている人はやせ、痩せている人は太ったりというおまけもついて、2班の指導員一同“これしかない”と言って大喜びしています。さあ、むし暑い中スポーツ気分ですら廊下掃除を頑張ろうね。

高橋

開園祭オリエンテーリング

大津高校の

みなさん

ありがとうございます

今年も暑い中、オリエンテーリングは大津高校のボランティアさん達のおかげで、無事盛況のうちを終える事が出来ました。手伝って下さった方から感想を頂きましたので一部ですが掲載させて頂きます。

.....

今回のボランティアは簡単で役に立てたのかどうか分かりませんが、でも少なくとも私自身の役に立ったことは間違いありません。私は、園生の人達が1つのことに一生懸命取り組んでいる姿、そしてそれを成し遂げた後のあの笑顔が忘れられないです。これから私の人生の中で、ああいう笑顔を一度でも見せることが出来たら良いなと思います。

.....

一見健康な私達の方が豊かに見えますが、心の豊かさは何か不足しているような気がします。参加して障害者への接し方だけでなく、自分自身を考え直す事が出来ました。

.....

色々仕事をしているうちに、自分が偽善者だと思えました。私は彼らを正面から見ることができなかったのです。でも、オリエンテーリングから帰って来た一人の男の子と握手しました。私は「ひよつとしたら少しは役に立てたのかな?」と思いますごく嬉しくなりました。18kmという距離を初めて歩き切った方、参加賞のジュースをニコニコと飲んでいる人達を見て、来てよかったです実感しました。

.....

園生の人達の素直さに私は感心しました。例えばプラスチックバンドが演奏しているときも、拍手をした

り、大声を出したり、とその喜び方がすごく素直なんです。オリエンテーリングは少しきついように思えたけど、ほとんどの人が最後まで歩いていました。みんな一生懸命生きてるんだなと思いました。

.....

私は、ボランティアに参加し、1秒1秒を一生懸命に生きている園生の人達に接し、学校での勉強以外に大切な事が少し見えてきたような気がしました。ボランティアというとめんどくさいという気持ちがありますが、参加する前は私にもありました。でも今は心から参加してよかったと思うし、またそういう機会があれば進んで参加しようと思います。



ぼらんていあ通信

去る5月25日(土)に今年度第一回目のボランティア学習会を開きました。参加者は2名と少々寂しい学習会となりました。内容は第一回目とあって、三気の里をより知ってもらおうと、園長による三気の里の概要についての話を聞いていただきました。年々園生も落ち着いてきたこともあって、以前は木曜レクにもボランティアさんに来ていただいていたのが、最近では職員だけでまかなえるようになり、嬉しい反面、来てくださるボランティアさんが減ったように寂しい気がしています。これからもボランティアさんには沢山来て頂きたいと思っておりますので、気軽に三気の里に来てみて下さい。

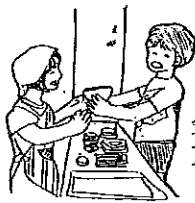
※ボランティア募集

8月3日(土)午後7時、恒例三気の里の夏祭りを行います。ボランティアしてみたい方、三気の里に集まれ!

武藤

食堂営業中

昼食が始まって12時40分頃。もう、お代わりのピークは過ぎ、そろそろお片付けの時間です。まだまだ、半分位残って食べています。あつという間に50分。食事終わりの時間です。『時間だよー。』『お片付けして下さい。』声を掛けると、食べた園生はさっとお片付け。1時頃もう掃除の時間です。台拭き当番や、いつも手伝ってくれるTさんが来ています。でも、まだ食べている園生がいます。T君とRちゃんです。2人とも早いときは早いのですが、今日は、遅かった様です。食堂掃除の始まりです。みんな手伝ってくれるので早く終わってしまいとても助かります。みんな、いつもありがとう。



金丸

こおろぎ母さんの

米養の話し

この季節『ビールがうまい』とうなる人も多いかと思えます。そして、つまみに欠かせないのが枝豆かと!

店頭には枝付きの枝豆が並ぶ中、冷凍枝豆を買っているお母さん、今日早速、枝付きを買ってみませんか。きつとお父さんも気付いてくれるはずです。

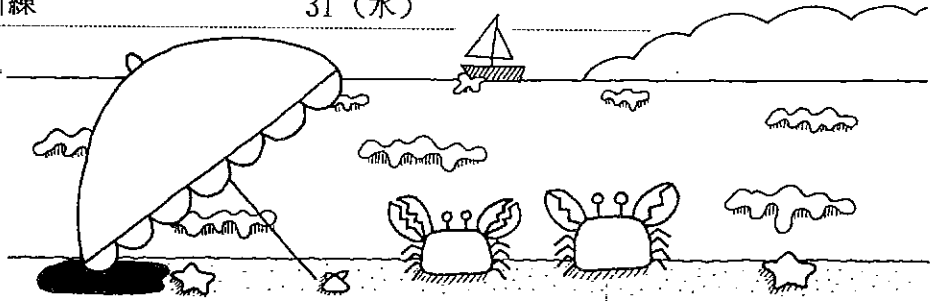
枝豆は、未成熟の大豆を収穫したもので、豆類でもビタミンや無機質に富んでいます。実が充分成長していて、柔らかく葉が生き生きしていて青みを失っていない物を選びます。ゆで方は、水洗いして軽く塩を振って周りのうぶ毛状のものをもみ落とし、たっぷりの熱湯でゆでます。ザルに上げてから、塩を振り手早く冷ますのが色良く仕上げるコツです。さあ、今夜の食卓は旬の味どうぞ。



牛嶋

7月の行事予定

1 (月)	17 (水)	
2 (火)	18 (木)	4班キャンプ 誕生会
3 (水) 体重測定	19 (金)	}
4 (木) 2・3班レク七夕祭り	20 (土)	
5 (金)	21 (日)	
6 (土) 療育相談日 めぶき園見学	22 (月)	}
7 (日) シーツ交換	23 (火)	
8 (月)	24 (水)	
9 (火)	25 (木)	
10 (水)	26 (金)	大掃除
11 (木) 1班キャンプ	27 (土)	☎ 帰宅バス運行
12 (金)	28 (日)	
13 (土) 帰宅日 父兄会	29 (月)	
14 (日)	30 (火)	
15 (月) 防災訓練	31 (水)	
16 (火)		



後援会入会云

ありがとう

窪 安代 千綿啓子 牛嶋妃佐美
 中村涼子 大橋孝良 本田シゲミ
 梅本信雄 中野怜子 市川かよ子
 東田昌子 財賀彌至 樺嶋紀生子
 天津政博 熊部 緑 中野美津子
 守 且孝 松田講成 清藤文弘
 尾崎元昭 藤本絵璃 坂田 博則

六月二十八日付け

※敬称略

☺ 後援会 ☺

三気の里をご支援下さる方は、
 後援会への入会をお願い致します。
 入会希望の方は、後援会事務局へ
 ご連絡下さい。

☎ 096-1293-8100

多田まで

編集後記

新シリーズ「こおろぎ・・・」
 が始まりました。乞うご期待!